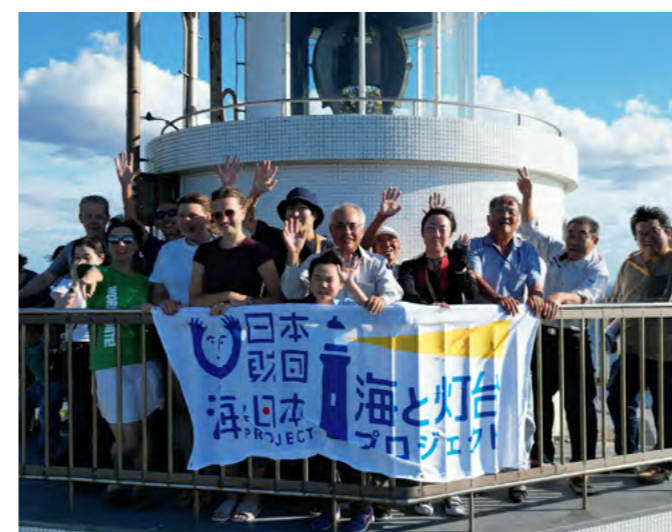




新たな  
灯台利活用モデル事業  
2023



# 新たな灯台利活用 モデル事業

灯台の存在価値を高め、  
灯台を起点とする海洋文化を  
次世代へと継承していくことを目的に、  
灯台の様々な利活用モデル創出に  
取り組む団体を公募。  
厳正な審査を経て11団体を採択し、  
全国11地域で灯台の利活用に向けた  
調査や事業などに取り組んだ。

## 🔍 調査検証コース ▶

対象とする灯台の  
固有の歴史や役割に関する調査を行うとともに、  
灯台利活用に関する仮説を設定し、検証を行った。

## 📺 利活用実施コース ▶

対象とする灯台の存在意義を高め、  
海洋文化資産として未来に継承することを目的に、  
灯台利活用に係るイベント開催、  
ガイド育成や学習プログラム創出などを行なった。

※本資料をパソコンで表示し「報告書Webページ」をクリックすると、  
灯台ごとの報告書を閲覧できます。  
また、インターネット検索で下記キーワードを入力いただくか、  
QRコードを読み取っていただくと、報告書の一覧ページが表示されます。



# 潮岬灯台旧官舎利活用プロジェクト

[ 紀の国灯台利活用推進委員会 ]



Shionomisaki  
Lighthouse

## 目的 [明らかにしたい仮説]

- 01 世界で注目されているホテルには「快適な宿泊」以外にプラスαの魅力がある。
- 02 「灯台ホテル」に泊まることで新たな灯台ファンを生み出すことができる。

## 調査検証概要

- 01 海外視察
- 02 国内高級宿の調査
- 03 国内灯台の利活用事例調査
- 04 灯台で過ごす時間演出の実証調査・有識者ヒアリング

## 調査検証によってあきらかになった課題とその解決のための施策案

課題1	課題2	課題3	課題4
料理などサービスの充実	1棟貸宿案の年間利用者数の少なさ	潮岬灯台資料館の古さ	長期的に人気の出る宿に
別棟ホテル案	官舎をレストラン活用	他灯台を参考にアップデート	コテージの部屋をオーシャンビューに

## 調査検証を踏まえた今後の展開案

1棟貸プラン	灯台守の存在を後世に伝える歴史遺産を、現代の基準にあった耐震補強とリノベーションを行い、宿泊施設に。	別棟ホテルプラン	灯台そばに宿泊できる体験型コテージ。旧官舎では、地元食材を使ったディナーが楽しめる!
--------	--	----------	--

## 01 海外視察 [建築・ノーザンライトハウスボード]

## 02 国内高級宿の調査

## 03 国内灯台の利活用事例調査

長期的に人気の出る宿に	ガイドツアー	資料館の目線	飲食など付帯サービス	イベント的盛り上げ	訪れる人々への観察
-------------	--------	--------	------------	-----------	-----------

## 04 灯台で過ごす時間演出の実証調査・有識者ヒアリング

[有識者]  
竹林陽子(田辺市・デザイナー)  
ヘメンディングー綾(和歌山市・ライター)  
後呂孝哉(那智勝浦町・宿経営)  
岩倉島史(古座川町・デザイナー)

# 細島灯台調査検証事業

[ 細島灯台灯りの輪 ]



## 背景と目標 ▶▶▶

「細島灯台」を  
うまく活用できていない。

- 01 日向市民の細島灯台の認知度は高いが、実際に足を運ぶ市民の数は少ない。
- 02 細島灯台の歴史、役割、文化について知っている市民が少ない。
- 03 細島灯台にしかない魅力を発掘できていない。
- 04 細島灯台の歴史、文化、環境等について語る人が少ない。
- 05 日向市民に対する効果的な情報発信ができていない。

日向市民に細島灯台を知ってもらいたい。  
まずは地元が愛する灯台へ。

## 調査事業 ▶▶▶

### 01 現地調査



### 02 文献調査・資料など収集



### 03 インタビュー調査



日向市観光ボランティアガイド「平兵衛さんの会」松葉藤吉会長  
宮崎大学 地域資源情報活用センター 伝承特別調査員 緒方博文氏

## 検証事業 ▶▶▶

### 01 専門ガイドの育成



日向市歴史観光ボランティアガイド「平兵衛さんの会」へのガイド講習会・意見交換会



灯台ガイドマニュアルの制作



細島灯台ガイドツアーの実施

### 02 地元を学ぶ! 灯台塾



地元高校向け灯台研修会

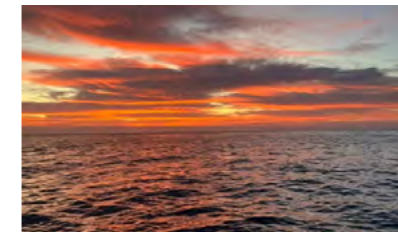


灯台ガイドマニュアルのイラスト制作



「平兵衛さんの会」との意見交換

### 03 灯台クルーズ



日の出クルーズ

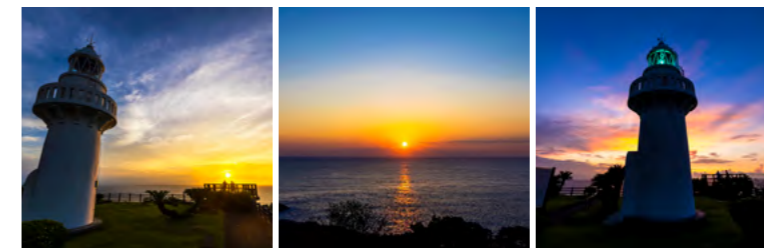


細島灯台クルーズ

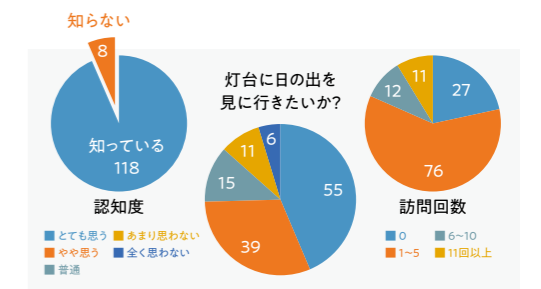
### 04 ナイトハイク



### 05 灯台with日の出 ~ここでしか見ることができない絶景を~



細島灯台×日の出撮影会



地元住民対象のアンケート調査

## 成果 ▶▶▶

### 灯台を起点とした地域の連携

灯台周辺景観の課題抽出がなされ、  
景観に対する意識が向上した

- ✓ 景観まちづくりの推進
- ✓ 常夜灯などの存在価値の再認識

## メディア露出 ▶▶▶

### 調査検証事業等へのフォーカス

地元新聞社、地元テレビ局ローカルニュース  
年末TV特番など

2023年紅白歌合戦で水森かおりさんが「日向岬」  
を熱唱。背景に「細島灯台」が映し出される





# 「安乗埼灯台及び灯台資料館の利活用調査」事業

[ 安乗埼灯台観光活性化推進コンソーシアム ]

Anorisaki  
Lighthouse



## 👍 目的 [明らかにしたい仮説] ▶▶▶

安乗埼灯台および周辺(灯台資料館、園地、灯台カフェ、大王崎灯台など)には、現時点では認識できていない価値や利用の可能性がある。それらを理解し、安乗埼灯台および周辺を新たに整備し活用する。

➡ **志摩市民のシビックプライド向上と、観光消費額の増加を図る**

## 👍 調査事業 ▶▶▶

### 01 灯台および周辺地区についての調査



安乗埼灯台の高さや光達距離などの基礎データ、設置経緯、関係者インタビューなどを通じて、安乗埼灯台ストーリーを作成。また神事や歴史など安乗地区の文化を調査。

### 02 灯台観光のニーズを調査



灯台観光ニーズに関するWEBアンケート調査及び安乗埼灯台への参観者に対するアンケート調査を実施。安乗埼灯台の知名度や来訪経験、また灯台観光に求められる要素などを明らかにした。

## 👍 検証事業 ▶▶▶

### 01 市民ワークショップの開催



#### 参加メンバー

- 若者、観光事業者
- 行政担当者
- 地域の商店、神社、自治会

#### 目的

- 灯台の価値を再認識
- (地域の) 取り組み状況の整理
- 安乗地区の活性化手法の洗い出し

### 03 初点灯150年記念 オリジナルグッズの製作



灯台マルシェ参加者にプレゼント。

### 02 灯台マルシェの開催



大漁旗リレー



ドローン撮影会



謎解きゲーム



灯台スイーツ



マルシェ出店

## 👍 調査検証であきらかになった 課題解決のための施策案 ▶▶▶

01 中京圏・関西圏の居住者で、三重県、特に伊勢志摩エリアへの観光客を誘客

02 近隣の宿泊施設連携、バイカー誘致を進め、灯台参観以外を楽しんでもらう仕掛けを作る

03 以下のグランドコンセプトを設定し施策を推進  
「海の恵みの感動体験～癒しと絶景の安乗埼灯台」

## 👍 メディア露出 ▶▶▶



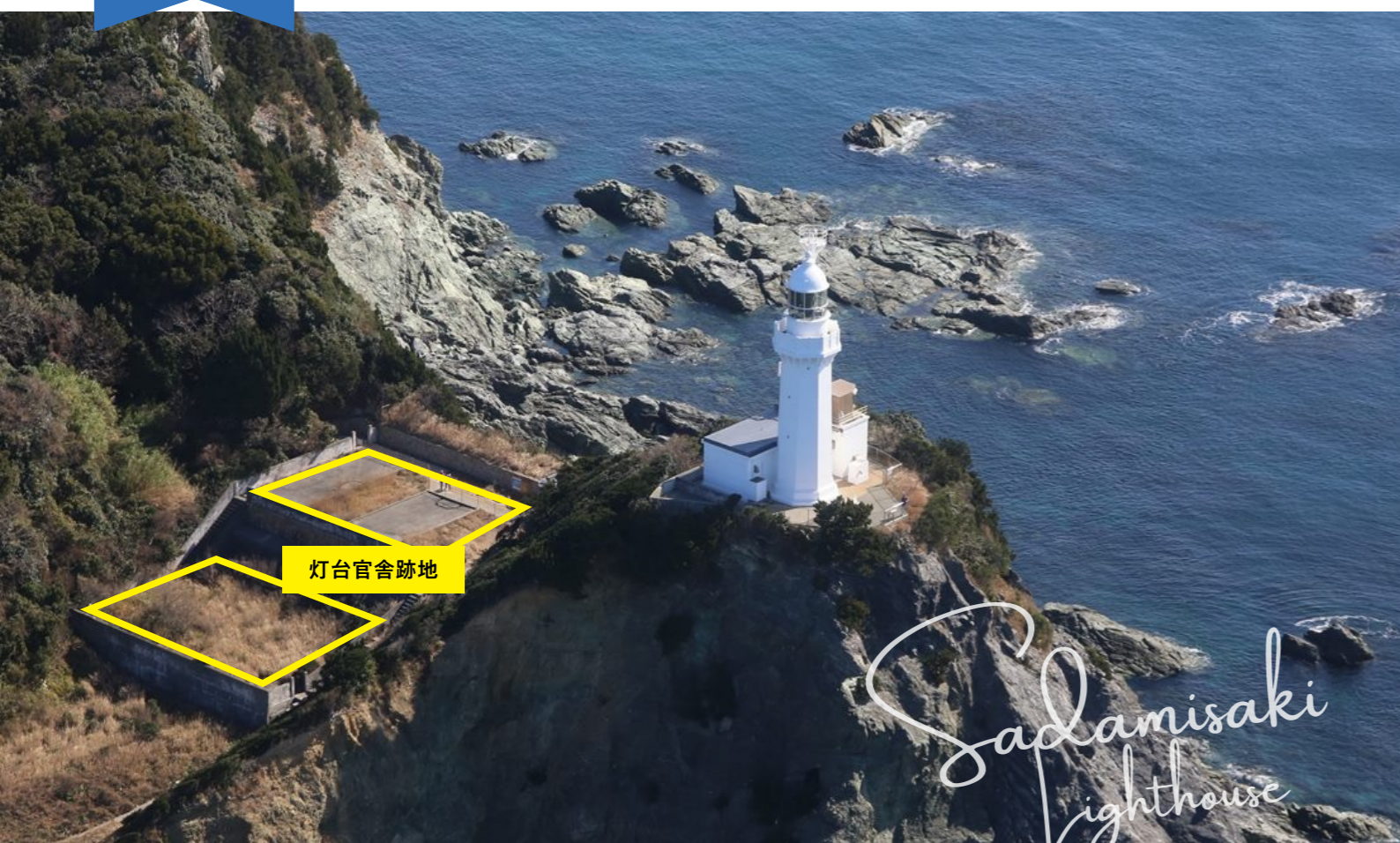
のべ62媒体 総PV数:695PV



利活用  
実施コース

# 佐田岬灯台利活用推進プロジェクト

[佐田岬灯台利活用推進コンソーシアム]



灯台官舎跡地

Sadamisaki  
Lighthouse

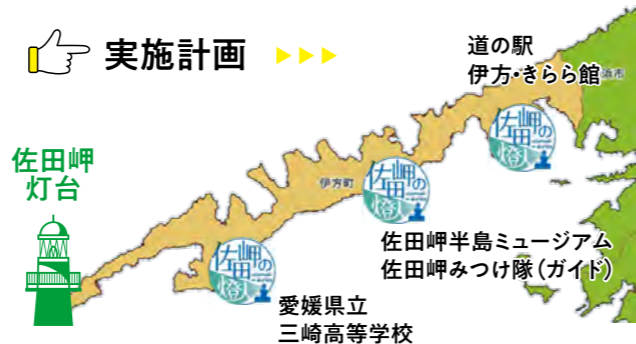
## 目的

四国最西端に位置する佐田岬灯台の旧官舎跡地に官舎を復元し、”最果ての時間と空間を提供”する「ちいさな灯台ホテル」を目指す。「灯台守追体験」等を提供するため、ユース世代等の人材育成にも取り組み、持続可能な事業とする。

## 達成目標

2023年度、旧官舎跡地の土地調査・整備計画作成・実現可能性調査完了。  
2025年度に「灯台ホテル」整備開始を実現するため一歩目を踏み出す。

## 実施計画



### 事業1 高付加価値宿泊施設の整備計画調査

取組1 旧官舎跡地における高付加価値宿泊施設のハード整備に向けた土地調査・整備計画作成

### 事業2 町内灯台関係人材(燈人)の育成

取組1 佐田岬半島ミュージアムと連携した元灯台守・阿部富士男氏登壇シンポジウム

取組2・3 燈人育成プログラムの一環で夜の灯台学習会・キャラクター化など

## 事業1 高付加価値宿泊施設の整備計画調査



官舎跡地の土地調査  
(委託先:堀田建設)

### 取組1 ハード整備構想

✓自然公園法にかかる調査 ✓活用手順の検討



構想1

自然公園法施行規則に沿った高付加価値ホテル



構想2

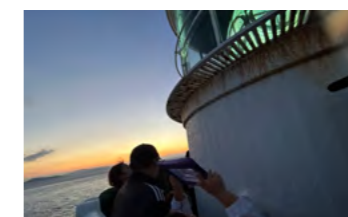
園地事業の附帯施設としての休憩所(人々の交流場所)整備

## 事業2 町内灯台関係人材(燈人)の育成

取組1 佐田岬灯台シンポジウム～歴史を学び未来を照らす～ 11月4日(土) 佐田岬半島ミュージアム



取組2 夜の灯台解放&エメラルドタイム学習ガイドツアー 11月19日(日)/佐田岬灯台



三崎高校の生徒、佐田岬みつけ隊(佐田岬半島ミュージアムサポーター)、伊方町地域おこし協力隊、旅館経営者、道の駅事業者、地元漁師(海士:あまし)など、**将来の燈人候補者ら約40名**が参加。佐田岬灯台の魅力の一つ「エメラルドタイム」についてガイドツアーを通して学習。

取組3 三崎高等学校生徒による佐田岬半島に10ある灯台のキャラクター化 1月20日(土)



三崎高校の生徒7名が佐田岬にある10の灯台のキャラクターを制作。今後、グッズ化し、道の駅や佐田岬半島ミュージアムショップで販売。

## 今後の展開予定 [ハードとソフト両輪で事業展開しながらステップアップを図る]

### ハード事業

日本財団様と相談しながら具体的な事業計画の策定  
灯台を訪れる観光客や地元住民の顕在/潜在的な需要の追加調査と検証  
官舎跡地の払下げにかかる土地費用について複数の鑑定士による予備調査を実施、想定価格の算出

### ソフト事業

佐田岬灯台に関する知識習得を目的とした「佐田岬灯台 燈人検定」の実施  
町内に様々な立場で点在する「燈人」の活動機会を創出する  
三崎高校生と連携した継続的な取り組み



利活用  
実施コース

# 長尾鼻灯台利活用 八良い(弥生)事業

〔鳥取市青谷地区振興プロジェクト実行委員会〕



Nagaohana  
Lighthouse

海と灯台のまち青谷の「いま」の魅力を紹介！



## 👍 目的 ▶▶▶

### 「AOYA TODAY」とは？

昨年度反響を得た「青谷灯台物語」を深め、地域の生涯学習としての一貫教育を作り上げるプロジェクト。海と灯台のまち青谷の「灯台(TODAI)」を学び、「今(TODAY)」の魅力を発信する。コンセプトは「青谷の誇り。未来への灯り」「灯台」を起点に自分たちの誇れる町を知り、存在意義を未来へと継承する。

#### 青谷小学校

- 〔古代米体験〕
- 〔読書会〕
- 〔灯台訪問〕
- 〔因州和紙灯台ランプ〕

#### 青谷中学校

- 〔ふるさと学習探求あおや〕
- × 海

#### 青谷高校

- 〔地域学習青谷学〕
- × 灯台

灯台を起点に青谷の誇りを醸成。  
子供たちを灯台とともに地域の未来を灯す  
プレイヤーとして育成。

## 👍 実施計画 ▶▶▶

プロフィール  
不登校児童との

学習プログラム

自走の仕組

誘客・一般向け

体制構築

今後の検討

## 👍 成果 ▶▶▶

### 01 AOYA TODAY WEBサイト



小・中・高の学習レポートを  
随時アップロード



### 02 レンタサイクル事業として展開し自走の資金とする



海や灯台につながるスポットをレンタサイクルルートとして展開

### 03 日本海テレビによる番組(動画)製作



小・中・高校の授業で活用可能な動画として！  
WEBサイトの誘客コンテンツとして活用！

## 👍 実施結果 ▶▶▶



今期のプロジェクトは、  
来期自走する種づくり

※日本海テレビが関わって、協賛>負担

来期は地域の体制で  
学習&自走をスタート

## 👍 メディア露出 ▶▶▶



テレビでの展開 ●「海と日本プロジェクト SEA」  
●「海と灯台プロジェクト特別番組」



地域の展示会で灯台の絵画が一堂に！  
〔鳥取市児童生徒交流絵画展〕



利活用  
実施コース

# 2灯台を繋ぎ平戸生月島を灯すプロジェクト

[ 灯台からのメッセージ運営委員会 ]



## 👉 目的 ▶▶▶

### 2022年度の実証実験

島の2つの地域が初めて一緒に1つの事業に共に取り組み、灯台を軸に島の風景・歴史・文化・人々をつなげることができた!

### 2023年度の実証実験

灯台で繋がる人と人  
灯台を軸に島をひとつにして  
島全体を活性化したい!

「灯台と灯台 海・空・陸・人」

埋もれかけた灯台の利活用を促し  
2つの灯台を「繋ぐ」ことで  
観光資源として開発・定着させる

## 👉 実施計画 ▶▶▶



- 01 草木に埋もれつつある長瀬鼻灯台へのアプローチ整備と周辺の整地・誘導看板設置。
- 02 地元小中学生によるボランティアガイドと小学生による紙芝居で2つの灯台のある生月島全体の魅力を発信。
- 03 「灯台ツナギ陸ルート」(サンセットウェイ)をヒッチハイク体験でツナグ!
- 04 「灯台ツナギ海ルート」2灯台と島の自然と歴史的・文化的遺産を海上ルートで巡る新たな観光ルートを実施。
- 05 灯台ステージ、灯台マルシェで灯台と地域の魅力を活性化。

## 👉 成果 ▶▶▶

01 草木に埋もれつつある生月長瀬鼻灯台周辺の整地・整備と看板設置



幻の観光地となっていたが、周辺を整備し、地元の子どもたちによる看板を設置

02 地元小中学生によるボランティアガイドと小学生による紙芝居



2つの  
お話を  
紙芝居に

03 「灯台ツナギ陸ルート」(サンセットウェイ)をヒッチハイクでツナグ!



04 「灯台ツナギ海ルート」2灯台を海上ルートで巡る



ツナガル海ルート 10:00-17:00

2つの灯台と、鯨島塩俵の断崖や長瀬八洞ダンジグ様、聖地中江ノ島を海から見える貴重なクルーズ!!  
10時, 12時, 14時, 16時  
17時 (サンセットクルーズ)  
おひとりさま ¥3,000 (税込)  
事前予約優先  
ご予約はこちらから▶

05 灯台ステージ、灯台マルシェで灯台と地域の魅力を活性化

■ 実施日: 2023年11月11日10時~17時 ■ 来場者数: 約1000名  
■ ボランティアスタッフ: 約80名 (総スタッフ数約100名)







利活用  
実施コース

# ソーシャルビジネスモデル 「灯台ホリデイ」構築事業

[ 恵山岬灯台活用協議会 ]



散策・ガイドツアー



ドッグラン(直営)



縁日・薪割り体験(直営)



マルシェ&キッチンカー



散策ガイドツアーで  
海と灯台の歴史や建築美、自然を学び、  
チェアリング(屋外で座ってつろぐ体験)で  
のんびりリラックス。  
さらに、特典・割引ブックで  
買い物や温泉をお得に楽しめる、  
地域の魅力再発見イベント、「灯台ホリデイ」。



Esanmisaki  
Lighthouse

チェアリング

特典・割引ブック



## 👍 目的 ▶▶▶

### 函館東部エリアを 活性化させたい!

という思いから、  
昨年度の調査検証をふまえて、  
海と灯台の魅力を活かした新イベントを企画。

- 01 地域の20代~30代の目的  
→ 地域おこし
- 02 函館市の目的  
→ 限界集落の活性化・移住促進
- 03 隣接ホテル・地域の企業・商店の目的  
→ 活動支援・本業PR

## 👍 実施計画 ▶▶▶



イベント企画



実施体制構築



初期投資(備品・ツール準備)



協賛金募集



のべ10日間開催



今後の検討

## 👍 成果 ▶▶▶



参加費は当日1500円/予約1000円  
10月~11月、のべ10日開催

参加費・物販など売上 出店料、協賛	>	活動維持費 イベント開催費
----------------------	---	------------------

今後、自走する目途が立つ!

## 👍 メディア露出 ▶▶▶



NHK北海道での特集や  
地元紙1面掲載のほか、テレビ3回、  
新聞9回、WEB34回の露出





利活用  
実施コース

# 野間埼灯台ポータル化プロジェクト

[野間埼灯台ポータル化実行委員会]



## 👍 目的 ▶▶▶

「野間埼灯台」に”有人常設拠点”として、オシャレなキャンピングカーを設置し、「現代版灯台守」の育成。ウェディングフォトなど、灯台を利活用したさまざまな有料サービスを提供するなど、「野間埼灯台」を中核とした地域経済の活性化を目指す。地域のハブとして「現代版灯台守」が自立して継続できる事業・体制を創出する。



現代版「灯台守」を配置し、2023年度は年間収支計画を策定。その人件費等が捻出できる持続可能な事業体制を2025年春までに整える!

## 👍 企画の意味[取り組む理由] ▶▶▶

- 01 灯台のポテンシャル
  - 愛知県最古の灯台
  - 国道沿いに立つ好立地
  - 夕日の名所
- 02 現代版灯台守をフォロー
  - 自治体、観光協会、地元メディア、観光事業者、イベント事業者が連携
  - 現代版灯台守を多角的にフォロー
- 03 恋人たちの聖地
  - 以前から「恋人たちの聖地」として有名
  - ウェディングフォトなどを楽しむスポット
- 04 有料サービス提供の可能性
  - ウェディングフォトやチャリングなどロケーションを活かした有料サービス提供の可能性が広がる

## 👍 実施結果 ▶▶▶



### 反響大きく、30組の応募



年間100日、野間埼灯台でウェディングフォトを撮影するカメラマンとキッチンカー運営を考えるカップルに決定

23年11月カップルで名古屋から美浜町に移住

募集から任命、その後の活動までテレビ局取材6件、新聞8件、WEBは多数と各種メディアに露出

美浜町長や海上保安庁への表敬訪問をはじめ、町のイベントにも参加するなど、町に溶け込みながら活動中!



利活用  
実施コース

# 日本一高い灯台を“照らす”フェス ～出雲日御碕灯台TERRACE～

〔日御碕・鷺浦灯台利活用プロジェクトコンソーシアム〕



Izumohinomisaki  
Lighthouse

告知ポスター



テーマソング



紙芝居ライブ



音楽ライブ



灯台アート(行燈)



高校生マーチングバンド

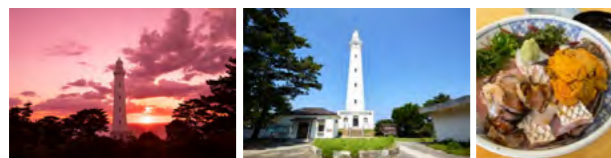


灯台グルメ

## 👍 目的 ▶▶▶



出雲日御碕灯台の入口にある、日御碕商店街は**空き家**が目立ち、観光客や地域の人々が楽しめる**イベント**がない…。



石造り灯台として日本一の高さを誇る出雲日御碕灯台は、絶好の夕陽スポット。名物は海鮮丼!



灯台と海を見ながら  
イベントやグルメを楽しむスペースを設け、  
地域や周辺の人たちを集め、日御碕を盛り上げよう!

## 👍 実施計画 ▶▶▶



- 01 ライブステージ
- 02 灯台グルメマルシェ
- 03 灯台を照らすランタン
- 04 灯台スタンプラリー
- 05 灯台ガイドツアー

## 👍 成果 ▶▶▶



- 来場者数  
3379人 (通常の3倍)
- 地元のまきこみ
  - 地元店舗の出店(8店舗)
  - 地域おこし協力隊メインメンバーの参加
  - 参加アーティストからも高評価
  - 2024年も実施したいという声が多数

## 👍 今後の展開予定 ▶▶▶

“日本一の灯台”から“日本一のアーティストを”  
石造り灯台日本一の高さを誇る出雲日御碕灯台を中心に、  
灯台のように日本一を目指すアーティスト発掘のFESとする

- 灯台が照らすFES  
多くのアーティストが集合!
- 有料化  
お金を払って楽しむ非日常空間
- アーティストが自主運営  
最高のライブステージは自ら運営
- 灯台魅力化へ  
来場者の寄付による参加型FES
- 灯台と言えば…  
夕暮れ～夜の幻想的な空間へ

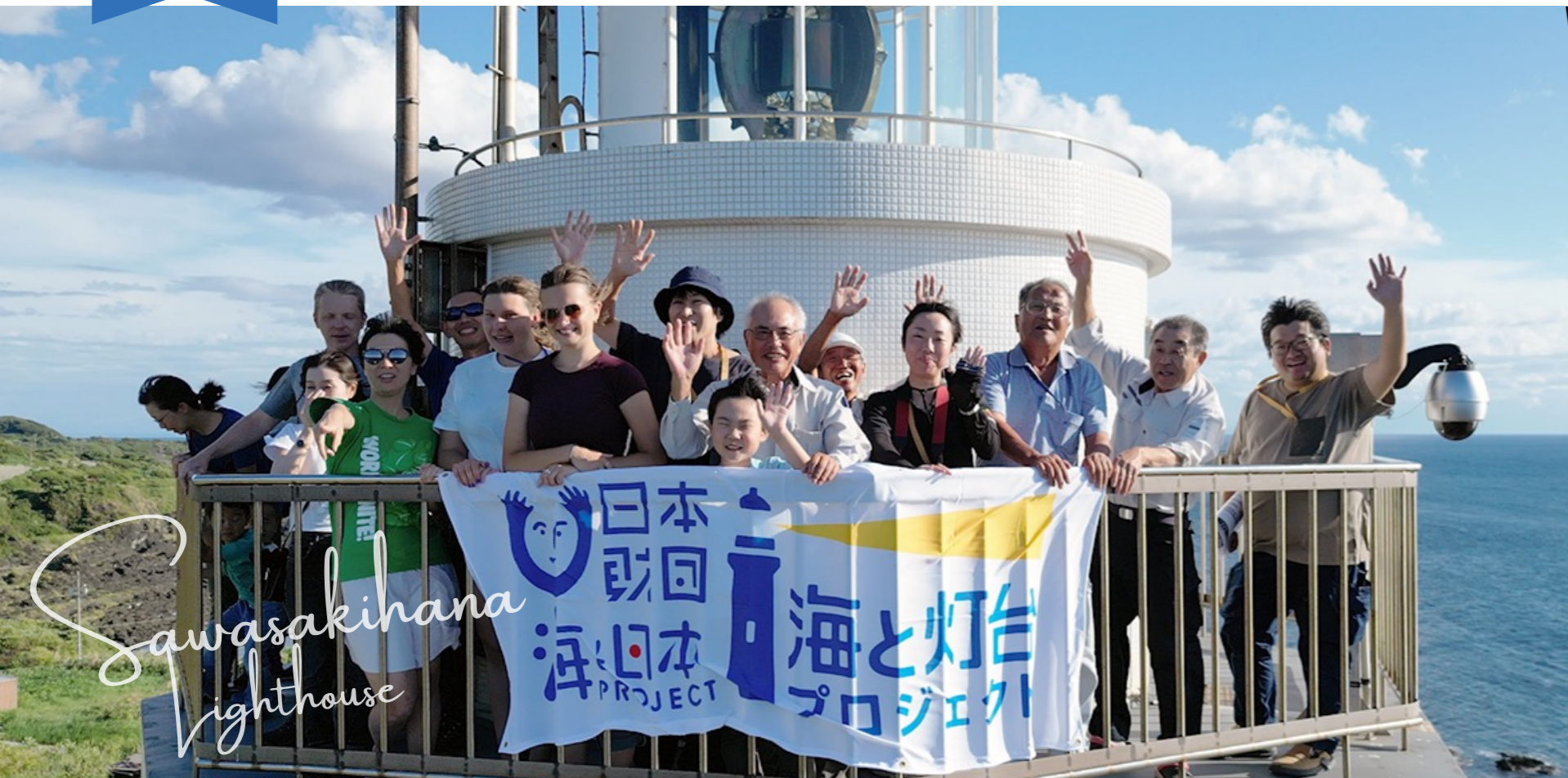


利活用  
実施コース

# 灯台×地域資源 「ミッション型灯台キャンプ」構想事業

[ さど探求プロジェクト ]

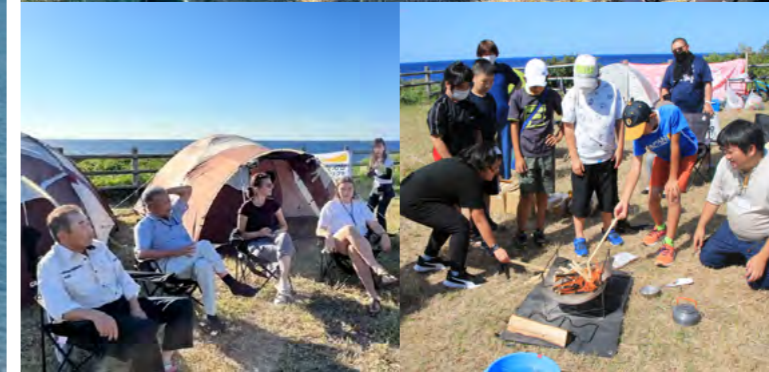
沢崎集落の神石神社の例祭。  
人口減少で存続が危ぶまれている。



灯台キャンプ



沢崎まつり



## 👍 目的 ▶▶▶

### 【灯台キャンプ】

絶景を誇る  
集落のシンボル  
沢崎鼻灯台の  
ふもとでのキャンプ

### 【地域資源】

人口減少の  
影響で  
担い手が不足し、  
文化継承が危うい



灯台に人々が集まる  
空間・仕組をつくることで  
地域の活性化と、  
魅力ある文化を未来につなぐ

## 👍 実施計画 ▶▶▶

### ミッション型灯台キャンプとは

「灯台という特別な場所でキャンプをしながら、地域のお手伝いをする」という体験プログラム。灯台が海と人と文化を結ぶ結節点となり、継続的に集落との接点を維持し、関係人口を創出。



## 👍 成果 ▶▶▶



灯台と地域の結びつきを再現  
地元の巻き込みに成功



灯台を軸にすることで  
地域の文化を未来につなぐ  
仕組みづくりができることが分かった

## 👍 メディア露出 ▶▶▶



NHK新潟「新潟ニュース610」  
佐渡テレビジョン  
にて5分間特集



参加者は  
キャンプした場所(灯台周辺)が  
とても美しかった!



新潟県観光協会  
HPにて紹介

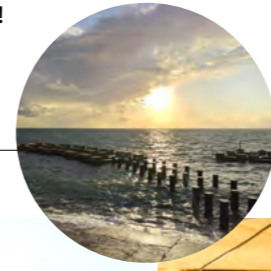


利活用  
実施コース

# 生地鼻灯台を中心とした 生地エリア魅力発掘プロジェクト

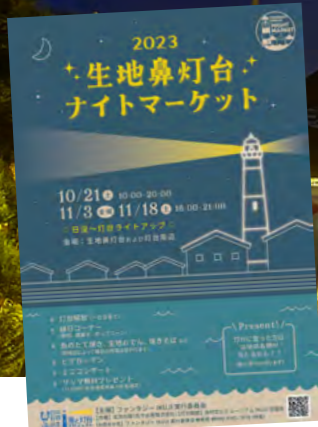
[ 生地地区灯台利活用プロジェクト実行委員会 ]

自由に灯台に登れるように！  
灯台からの夕陽を  
ぜひ見てもらいたいと、  
日没まで登頂時間を変更。



地域の伝統料理  
「立て焼き」実演販売

Ikujibana  
Lighthouse



灯台ライトアップ  
ナイトマーケット時は、  
安全面に配慮し、  
登頂ではなく「見る」  
「映える」灯台演出を！

灯台登頂



灯台ミニライブ



灯台コラボ商品

生地鼻灯台かまぼこや地酒



灯台マルシェ



## 目的

北洋漁業へと出かけ、  
そして灯台の燈を目指して  
戻ってきた生地の漁民。  
行く人、送る人、帰る人、迎える人…。  
様々に交錯する人々の想いで、  
生地の浜は賑わっていたことだろう。

令和の今、灯台の燈の下に集えば、  
かつての賑わいを呼び戻せる

そんな想いのもと、企画・実施したのが、  
「灯台ナイトマーケット」だ。  
灯台に登り、灯台周辺でのマルシェやステージ、  
景色や文化、食のイベントを楽しみ、  
特別な時間を過ごすコンテンツを用意し、  
地域住民や事業者、自治体と共に企画運営し、  
定期開催を目指した。



## 実施計画



- 01 10月21日(土) 既存イベント 「生地鼻灯台ファンタジー」との共催
- 02 11月3日(金・祝) 海と灯台ウィーク中 海上保安庁による灯台公開・写真展と共催
- 03 11月18日(土) オリジナルのイベント開催

## 成果



- 01 10月21日(土) 風雨の中開催 灯台向かい「北洋の館」倉庫内にテントを設営して開催。500人集客。
- 02 11月3日(金・祝) 最高気温30°C! 800人集客。 **大盛況!**
- 03 11月18日(土) 外出もはばかれる天候の中で 10月以上の**暴風雨** 来場は80人。

## メディア露出



北日本新聞  
2023年  
10月22日朝刊

北陸中日新聞  
2023年  
10月22日朝刊

